

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ココロlab すいみ～さしき 教室			
○保護者評価実施期間	2025 年 3 月22 日 ～ 2025 年 4 月 15 日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	10
○従業者評価実施期間	2025 年 3 月22 日 ～ 2025 年 4 月 15 日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025 年 5 月30 日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・個別療育を実施して、職員が1対1でこどもと向き合える時間を確保している	・個別療育の時間をひとり30分もつことで、児童との関係性も構築しやすい	・特定の職員のみが、個別療育に入っているのでみんなができるようにしていきたい
2	・活動プログラムが固定化しないように工夫している	・こどもたちの興味関心をキャッチして、プログラムに組み込んだりしている。 ・手指活動、運動あそび、感触あそび、リズムなどいろいろなものにチャレンジできるように情報をキャッチするようにしている。	・外部の講師等をお招きしたりして、職員以外の人との交流を図っていきたい。
4	・モニタリング、個別支援会議、勉強会などを実施して、情報の共有や支援の方向性を図る機会を設けている	・他職種、他機関での情報共有や支援の方向性の統一は難しいことも多くある。そのため、細かく聞きたいことや調整していきたいことを確認していくことを意識している。	・モニタリングだけではなく、保護者面談等を開催していきたい。
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・職員間の情報量や知識の差が大きく、1つの課題解決に向けて話をする際に時間を要することが大きい。	職員間の情報の格差	・職員間の知識や技術の差を少なくしていくように、積極的に研修を開催していきたい
2	父母会、ペアトレ、保護者面談など、保護者との交流の機会が少ない	保護者支援をできる職員が限定されている。	・令和6年度は、BBQ・もちつきで保護者交流の場を設けたが、準備の段階から保護者を巻き込んだりと工夫していきたい。
4	・事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染マニュアル等の策定はしているが、職員間での周知の差があった	毎月の避難訓練、マニュアルのブラッシュアップが1部の職員で行っている	・いろんな職員が関われるようにしていく必要がある